

## 乳児・クラスの様子 (3月号)

**ひよこ組** 今月の目標：自分でしようとする意欲を育み、ごっこ遊びや簡単な言葉のやりとりを楽しむ  
月日の経つのは早いもので、ひよこ組での生活も残りひと月となりました。毎月のように新しいお友達が増えていく中で、子ども達もひとり遊びからお友達同士で遊ぶ姿が見られるようになりました。

ままごと遊びでは、お友達のコップにジュースを注いであげて、一緒に飲む真似をしたり、お友達と手をつないで室内を散歩したりして楽しんでいます。来月からはりす組での生活が始まりますので、りす組で遊ぶ機会を持ちながら、子ども達が戸惑うことなく新たな生活が出来るよう、進級に向けての準備をしていきたいと思ひます。

☆今月から新しいお友達が加わります。ほしのはるとくんです。よろしくお願ひします。

(山田)



**りす組** 今月の目標：友達との交流を大切にし、いろいろな活動を楽しむ。

今年度もあとわずかとなりました。朝、登園してくると子ども達から「今日お散歩行く?」「お絵描きしたい」「パズルがしたい」と言いに来る子がいたり、好きな絵本をコーナーでゆったりとした雰囲気の中で見ているもいます。「何して遊ぼうかな?」と子ども達の意欲的な姿がありこれからも一人一人の思ひを大切にしていきたいと思ひます。また、うさぎ組さんに進級することを伝えると「おねえちゃんのお部屋?」と嬉しそうにしている子もいました。1つ大きくなることが子ども達にとって楽しみになるような保育をしていきたいと思ひます。

(石田)



**うさぎ組** 今月の目標：友達と一緒に楽しさや進級するうれしさを感じながら、遊んだり生活したりする。

：春の訪れを感じながら戸外でのびのびと遊ぶ。

初めてのお遊戯会は、緊張のため練習時より少し元気がない子もいましたが、お家の人と一緒に舞台上でキキ感を共有しあうことができました。最後の歌は二歳児らしい元気な歌声で、どの子もほんとうに堂々として嬉しそうな表情でした。移行に向けて異年齢クラスに遊びにいたり、ホールでお給食を食べたりして、無理をせず少しづつ進め、また一人ひとりの様子に気をつけながら、安心して過ごしていけるように見守ってきたいと思ひます。



(早川)

**くぬぎ組 今月の目標** : 卒園児との時間を大切に、思い出をつくる。・進級に期待をもち楽しみにする。

お遊戯会では、本番まで一生懸命練習してきたことを大きな舞台上で表現する子ども達の成長した姿を見ていただけたのではないかと思います。また、ダンスでは年長児がおみこしのスピードを調節したり、劇では年長児が年中、年少児にセリフを教えたりと、年長児を中心に、子供同士が支えあう異年齢ならではの良さも感じられたと思います。お遊戯会を終え、子どもたちもほっと一安心。そのなかでも、ライオン組のダンスを年中、年少児が憧れを抱き真似て踊ったり、年長児が踊りを教えてあげたりと微笑ましい姿があります。大きな行事を終え、子どもたちが一回り大きくなったように感じます。年長児が保育園で過ごす時間もあと少しとなりました。散歩に出かけると梅の花が咲いていたり、ツツシが芽を出したり…と春が近づいています。年長児とのあと少しの時間を大切に、楽しい思い出をたくさん心にきざんで欲しいなと思います。

(片岡)



**とちのき組 今月の目標** : 異年齢の友だちとの関わりを通して、  
進級、就学への期待を持つ。

2月は一年で一番大きな行事「おゆうぎ会」がありました。今年のおゆうぎ会は、一人ひとりが楽しんで舞台上に立つ姿が、とても印象的でした。おゆうぎ会の経験が、子ども達の自信や成長につながったことだと思います。

今年度は例年に比べ、異年齢で過ごす時間の多い一年となりました。子どもたち同士の関わりも自然に深まり、クラスが一つの大きな家族になったように感じます。また、一年を通して取り組んだ「タッチリレー」。様々なルールで取り組み、走ることが好きになった子や、自分から「やりたい!」と伝えてくれる子がいて、継続することの大切さを感じました。あと一ヶ月もすれば、子どもたちは就学、進級し、また新しい生活が始まります。今年一年で育った力を、新しい生活で発揮して行ってほしいと思います。一年間ありがとうございました。

(黒宮)



**さくらぐみ**

**今月の目標** : ひとつ大きくなるということを意識し、期待を持ち友だちと一緒に楽しんで過ごす。

おゆうぎ会も終わり、さくらぐみで過ごす時間も残りわずかとなりました。おゆうぎ会を通してさらに異年齢でのかかわりも深まったように感じます。年下の子に優しくしてくれる姿、年上の子に憧れ真似をしようとする姿、自分から友だちとかかわりにいく姿など一人ひとりの成長をたくさん感じられる1年間になりました。集まりで年長の子と過ごせるのもあと少しと伝えると、年中や年少の子が年長の子に甘えたり、寂しがる様子もあり、そういった姿や言葉から、子ども達同士のかかわりの深さを感じます。一緒に過ごせる1日1日を大切にしながら、楽しい思い出がたくさんできるといいなと思います。

(平塚)